

# 会 議 録

## 1 会議名

令和6年度第9回柿崎区地域協議会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### (1) 自主的な審議 (公開)

・柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について

### (2) 協議事項 (公開)

・「柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について」の諮問に対する  
答申について

### (3) 報告事項 (公開)

・くろかわ児童遊園の廃止について

### (4) その他 (公開)

## 3 開催日時

令和7年1月21日(火) 午後6時30分から午後7時12分まで

## 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、小関委員、  
小山委員、坂木委員、佐藤(達)委員、佐藤(昌)委員、  
佐藤(ま)委員、滝澤委員、蓑輪委員、山川委員
- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、  
五十嵐産業グループ長、宮崎建設グループ長、  
石川市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長

## 8 発言の内容（要旨）

### 【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

### 【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に佐藤（ま）委員を指名。
- ・次第4の自主的な審議に入る。(1)柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について協議する。最初に、中村副会長から米山薬師を守る会の取組状況の報告をお願いします。

### 【中村副会長】

- ・1月17日に第3回の会議を開催したので、協議結果を報告する。柿崎山岳会会長との懇談結果を踏まえた課題整理を議題に、山岳会解散後の米山登山道や山頂施設の維持管理を、誰がどのように行っていくかを協議した。その対策として、「市が予算化して対応する」「柿崎山岳会に代わる団体を立ち上げる」「ボランティアを募る」の3案が考えられる。
- ・3つの対策案には、それぞれ課題がある。市が予算化し全面的に施設の維持管理を行うと、経費が今までより大幅に膨らんでしまうこと、柿崎山岳会に代わる団体の立ち上げは、今の社会状況の中では難しいと思われること、また、ボランティアを導入するには、募集や情報発信、運営等の業務を担う事務局が必要となることなどが挙げられた。
- ・3案の中で最も実施に移せる可能性がある案は、ボランティアと市が施設の維持管理を分担して対応することだと考えている。ボランティアを募って行う場合には、市が行うべきこととボランティアにお願いすることの仕分けが必要となることから、市が山岳会へ委託している業務と業者へ発注している業務の内

容、その他に山岳会が自ら行っていることなどを、経費を含めて総合事務所の担当部署から説明してほしいと思っている。

**【吉井会長】**

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

**【滝澤委員】**

- ・私も、対応策として考えられることは、今ほど説明があった3案ぐらいだと思っている。その中のボランティアを募って実施する場合には、ネットワーク柿崎の協議の進捗状況に応じて一緒に検討していくことができれば、ボランティアの募集等がスムーズにいくと期待している。

**【吉井会長】**

- ・令和8年3月をもって柿崎山岳会は解散する。令和8年度予算に施設の維持管理経費を計上する場合には、今年の夏前に施設の管理方法を決めないと予算要求ができない。まず、柿崎山岳会が担ってきた業務内容を分析し、市へお願いする業務をきちんと洗い出すことが必要である。
- ・それでは、他に意見、質問がないため米山薬師を守る会からの報告を終了し、佐藤（昌）委員長にスポ×まちプロジェクトの取組状況の報告をお願いする。

**【佐藤（昌）委員】**

- ・1月15日に第3回の会議を開催したので、協議結果を報告する。11月21日に実施した区内のスポーツ施設の視察を基に、施設の良かったところ、残念だったところを整理した。委員各自がポストイットに意見や感想を記入し、その意見等を施設ごと、内容ごとに分類した。
- ・まだ分析していないが、良い点としてはすべての施設において設備が整っていることが挙げられ、柿崎区の強みであると思った。施設の残念な点は観客席が少ないことと、大きな大会やプロ興行ができないことが、すべての施設において共通していた。また、屋内水泳プールは、綺麗に改修されているにも関わらず、中学校の施設だと思っていたことや改修されていることを知らなかったというPR不足の面が残念な点として挙げた。
- ・一番関心を持ったことは、指導者が少ないということである。かきぎきドームにボッチャの用具がそろっているが、指導者が1人しかいないと聞いた。施設や用具等の有効活用のためにも、今後、指導者の強化が課題になってくると考

えている。

- ・施設の良いところ、残念なところの整理ができたので、今後分析を行い、区内のスポーツ団体の意見を聞きながら検討を進めていきたい。

**【吉井会長】**

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

**【山川委員】**

- ・ポストイットを使った初めての検討手法だった。リラックスして参加することができて、多くの意見が出た。大変楽しく検討できた。

**【坂木委員】**

- ・柿崎総合運動公園の憩いの広場が有効活用されていないので、今後、その活用方法を話し合っていこうと思っている。

**【吉井会長】**

- ・スポ×まちプロジェクトにはたくさんの課題があるので、それを整理して、どういう形にまとめていくかが大変だと思うが、よろしく願います。
- ・それでは、他に意見、質問がないためスポ×まちプロジェクトからの報告を終了し、佐藤（達）委員長にネットワーク柿崎の取組状況の報告をお願いする。

**【佐藤（達）委員】**

- ・12月17日に第3回の会議を開催したので、その概要を報告する。ネットワーク柿崎は、地域の人や各団体等が能動的に情報発信、受信することができて、必要なときに繋がることのできるネットワークづくりが目的である。その目的達成のため、インターネットのプラットフォームの作成を軸に調査、検討していくこととしている。今回の会議では、情報発信ツールの一案として自治体公認の準オフィシャルサイト構築に向けて、情報や課題をお互いに出し合った。
- ・準オフィシャルサイトの一つとして、「わが街辞典」「わが街ポータル」が自治体で使われている。「わが街辞典」は、柏崎市、糸魚川市、南魚沼市など1,100ほどの自治体が「暮らしの便利帳」や「子育てガイドブック」として活用している。「わが街ポータル」は官民協働事業のポータルサイト、自治体公式ホームページとリンクした自治体公認の準オフィシャルサイトとして、長野県千曲市や山形県新庄市をはじめ11自治体が導入している。また、「わが街ポータル」は、自治体のホームページや広報紙で掲載し切れない詳細な情報を補完するこ

とができる投稿型の情報配信サイトで、行政、企業、団体、地域住民が情報発信することができる。今後、「わが街辞典」「わが街ポータル」のメリット、デメリットを把握する必要があることから、導入している自治体の意見を聞きたいと思っている。

- ・これらの自治体公認の準オフィシャルサイトは上越市の中での動きになってしまうので、柿崎区に特化した情報発信ツールを構築したいと考えている。そこで、コネクト柿崎（かきざき空き家利活用協議会）が立ち上げたホームページは空き家情報だけでなく、柿崎区の魅力も発信しているので、1月28日にコネクト柿崎の事務局からホームページの内容等の説明を受け意見交換を行う。

**【吉井会長】**

- ・委員の皆さんから、意見、質問はないか。

**【金子委員】**

- ・次回の勉強会を基にして、上越市の中の柿崎というポジションよりも、身近な柿崎という色を出していきたいと思っているので、調査、検討を深めていきたい。

**【吉井会長】**

- ・3つの委員会を立ち上げたが、米山薬師を守る会も、スポ×まちプロジェクトも、ネットワークが大きな鍵になるので、ネットワーク柿崎に期待するところが大きいと考えている。

**【菟輪委員】**

- ・投稿型の情報発信ということで、「わが街辞典」と「わが街ポータル」の既存のサイトを使えないかと検討しているが、中でも「わが街ポータル」は非常に良いと個人的な感想を持っている。今、世の中はSNSの影響力が大きいと実感している。都会も田舎も関係なく、上手に使えば情報発信できる。どんな方法で情報発信していくかはまだ決まっていないが、「わが街ポータル」は自治体のホームページとリンクして使っており、柿崎そして上越市全体をうまく発信できるようになるとしている。

**【吉井会長】**

- ・その他に意見、質問はないか。  
(意見、質問なし)

- ・他に意見、質問がないため柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況についての協議を終了する。
- ・次に、次第5の協議事項(1)「柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について」の諮問に対する答申について協議する。先月の地域協議会において、「柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について」の諮問を受け、協議の結果、地域住民の生活に影響がないものと委員の皆さんから了解を得たので、その旨で答申案を作成した。
- ・吉井会長が、資料2により答申案を読み上げる。
- ・委員の皆さんから意見等はないか。  
(意見等なし)
- ・それでは、答申案のとおり市長へ提出してよろしいか。賛成する委員の皆さんは挙手をお願いする。  
(全委員が挙手)
- ・次に、次第6の報告事項(1)くろかわ児童遊園の廃止について、事務局から説明をお願いする。

**【石川グループ長】**

- ・資料3により説明。

**【吉井会長】**

- ・委員の皆さんから質問等はないか。

**【小出委員】**

- ・くろかわ児童遊園は、利用がなく土地所有者の意向もあって廃止したと説明があった。子どもが減っているということは確かだと思うが、市として児童遊園の適正数とか、今後の方向性をどのように考えているかを聞きたい。
- ・子どもが少ないから仕方がないとはいえ、意外と柿崎の街の中は、子どもの遊び場としての児童遊園が少ないと思っている。子どもの利用がないから児童遊園を廃止するというのではなく、少ない子どもたちが安全に遊べる場所、今のニーズに合った場所、子どもたちが外に出てきて遊んでもらえる場所であってほしいと思っている。

**【石川グループ長】**

- ・最初に児童遊園の適正数について説明する。児童遊園は、区内に何か所という

適正数は定めていないと思っている。

- ・次に、今後の方向性について説明する。区内の児童遊園の中で、くろかわ児童遊園だけが遊具がない状況で、くろかわ児童遊園以外の13か所の児童遊園すべてに遊具が設置されている。さらに、利用もされており、地元や地権者から廃止の声がないので、今後も維持をしていきたいと考えている。

**【吉井会長】**

- ・他に質問等はないか。  
(質問等なし)
- ・それでは、質問等がないため報告事項を終了する。
- ・次に、次第7のその他(1)会議の開催日程について、事務局から説明をお願いする。

**【長井班長】**

- ・次の会議の開催日程を説明する。
  - (1) 第6回柿崎区地域協議会だより編集委員会
  - (2) 第3回まちづくりフォーラム実行委員会
  - (3) 第4回ネットワーク柿崎
  - (4) 第10回柿崎区地域協議会
  - (5) まちづくりフォーラム

**【吉井会長】**

- ・次に配付物について、事務局から説明をお願いする。

**【長井班長】**

- ・次の配付物を説明する。
  - (1) 大瀨区地域協議会だより第58号
  - (2) 吉川区地域協議会だより第51号
  - (3) 上越市男女共同参画推進センター ウィズじょうえつからのおたより

**【吉井会長】**

- ・その他で皆さんから何かないか。  
(なし)
- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

**【中村副会長】**

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 15 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。